

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【公開番号】特開2016-14124(P2016-14124A)

【公開日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-006

【出願番号】特願2014-137994(P2014-137994)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 4/00 (2006.01)

C 0 9 J 4/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 4/00

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 133/04

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月28日(2016.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光学部材又は電子部材に貼付し、その表面を保護するために使用される表面保護フィルムであって、

前記表面保護フィルムは、撮像モジュールに貼付し、該撮像モジュールの受光部を保護するために使用されるものであって、

基材と、該基材の一方の面に設けられる粘着剤層とを備え、

前記粘着剤層が、アクリル系共重合体(A)を含むエネルギー線硬化型粘着剤組成物からなり、

前記アクリル系共重合体(A)が、少なくともアルキル基の炭素数が1又は2であるアルキル(メタ)アクリレートを含む5～50質量%含むとともに、カルボキシル基含有モノマーを含まず又は5質量%未満含むモノマー成分を共重合したものである表面保護フィルム。

【請求項2】

前記エネルギー線硬化型粘着剤組成物が、さらにエネルギー線重合性化合物(B)を含む請求項1に記載の表面保護フィルム。

【請求項3】

前記アクリル系共重合体(A)が、側鎖に不飽和基を有するエネルギー線硬化型アクリル系共重合体を含む請求項1に記載の表面保護フィルム。

【請求項4】

前記アクリル系共重合体(A)が、側鎖に不飽和基を有するエネルギー線硬化型アクリル系共重合体を含むとともに、

前記エネルギー線硬化型粘着剤組成物が、さらにエネルギー線重合性化合物（B）を含む請求項1に記載の表面保護フィルム。

【請求項5】

前記エネルギー線重合性化合物（B）が、ウレタンアクリレート系オリゴマーである請求項2又は4に記載の表面保護フィルム。

【請求項6】

前記アクリル系共重合体（A）が、さらにアルキル基の炭素数が3以上のアルキル（メタ）アクリレートを30～85質量%含むモノマー成分を共重合したものである請求項1～5のいずれか1項に記載の表面保護フィルム。

【請求項7】

前記アルキル基の炭素数が3以上のアルキル（メタ）アクリレートは、アルキル基の炭素数が3～8のアルキル（メタ）アクリレートである請求項6に記載の表面保護フィルム。

【請求項8】

前記アクリル系共重合体（A）が、さらにヒドロキシル基含有（メタ）アクリレートを0.2～40質量部%含むモノマー成分を共重合したものである請求項1～7のいずれか1項に記載の表面保護フィルム。

【請求項9】

エネルギー線照射前の粘着力が1000～20000mN/25mmであるとともに、エネルギー線照射後の粘着力が0.1～100mN/25mmである請求項1～8のいずれか1項に記載の表面保護フィルム。

【請求項10】

エネルギー線照射前の初期粘着力が10000mN/25mm未満である請求項1～9のいずれか1項に記載の表面保護フィルム。

【請求項11】

前記粘着剤層が着色され、表面保護フィルムの光透過率が50%未満となる請求項1～10のいずれか1項に記載の表面保護フィルム。

【請求項12】

撮像モジュールと、該撮像モジュールの表面に貼付される請求項1～11のいずれか1項に記載の表面保護フィルムとを備える表面保護フィルム付き部材。

【請求項13】

請求項1～11のいずれか1項に記載の表面保護フィルムを、撮像モジュールの表面に貼付してその表面に設けられた受光部を保護する方法。